

平成29年度第4回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成30年2月26日(月) 14:00～16:00
- 2 場 所 さぬき市役所附属棟多目的室
- 3 出席者 【委員】浅川委員 上原委員 江口委員 柿木委員 亀井委員 小山委員
多田委員 筒井委員 南田委員 宮本委員
村上アドバイザー
【事務局】酒井室長 三宅主査
株式会社ぎょうせい四国支社 山内主任研究員 家久係長
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議事
(1)「第2次さぬき市男女共同参画プラン」進捗状況調査に関する報告について
(2)「第2次さぬき市男女共同参画プラン(後期計画)」意識調査に関する報告について
(3)「第2次さぬき市男女共同参画プラン(後期計画)」の施策体系の検討について
(4)平成29年度事業報告について
(5)平成30年事業予定について
(6)さぬき市男女共同参画推進事業助成金交付要綱の一部改正について
(7)その他
4 閉会
- 6 配布資料 資料1 第2次さぬき市男女共同参画プラン推進施策の実施状況及び基本方針に係る数値目標進行状況調査報告書
資料2 「第2次さぬき市男女共同参画プラン(後期計画)」男女共同参画に関する意識調査報告書【概要版】
資料3 「第2次さぬき市男女共同参画プラン」施策体系
資料4 平成29年度男女共同参画推進事業スケジュール
資料5 平成30年度男女共同参画推進事業スケジュール(案)
資料6 さぬき市男女共同参画推進活動事業助成金交付要綱
資料7 さぬき市男女共同参画推進協議会委員募集要項

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	< 開 会 > (14:00)
事務局	ただ今から平成29年度第4回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。 はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 会長 筒井美佐子からごあいさつを申し上げます。
筒井会長	<会長あいさつ>

事務局	<p>続いて、会議の公開についてですが、本会議は「原則公開」となっているため、協議会の傍聴要領に従い13時30分から受付しています。いまのところ傍聴の希望はありませんが、会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p>
事務局	<p>続いて、議事に移ります。さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、筒井会長に議事進行をお願いします。</p>
筒井会長	<p>よろしく申し上げます。 はじめに、本日の会議についてですが、終了予定を16時としたいと思いますので、ご協力よろしく申し上げます。 また、本日は、この後の議事で意見や説明を求めるため、第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）意識調査業務に関する事業者「株式会社ぎょうせい」の山内さんと家久さんに出席を求めましたので、ご紹介させていただきます。</p> <p>では、議事（1）「第2次さぬき市男女共同参画プラン進捗状況調査に関する報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
筒井会長	<p>進捗状況調査について、意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>事務局からの働きかけで、取組実績が伸びたり、新たな取組が開始されたりしたのは喜ばしいことだが、調査報告が不十分なケースが見つかったとの報告もあった。具体的には、どういったものか。</p>
事務局	<p>例えば、資料1の11ページ「加害者に対する抑止支援」（子育て支援課）である。被害者支援のために配置された相談員が、加害者についても対応していると確認できたため、取組実績に追加して報告するようお願いした。</p>
筒井会長	<p>本日は議事が多くありますので、次に進ませさせていただきます。 続きまして、議事（2）「第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）意識調査に関する報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
筒井会長	<p>今回まとめた調査報告書は、来年度に予定される男女共同参画プラン見直しの基礎資料となりますので、十分な確認をお願いします。 調査報告書については、皆様それぞれ質問や意見があると思いますが、時間に限りがありますので、要点をまとめて意見をお願いします。</p>
アドバイザー	<p>調査の回答率は約40%となっているが、全国的な回答率はどの程度か。</p>
事務局	<p>男女共同参画に関する全国的な回答率は、約40%と言われているので、標準的といえる。なお、参考までに総合計画策定に関する調査は約50～60%、高齢者福祉計画策定に関する調査は約70%、障害者計画策定に関する調査は約40%である。</p>

委員	調査の実施には、回答してもらう市民の協力が欠かせないが、自由意見の中には、「設問が多く、負担に感じた」との意見があった。さぬき市の設問数は、他の自治体と比較してどうだったのか。
事務局	調査結果の取得と回答者の負担軽減とを考慮しながら精査を重ね、最終的には30問に絞り込んだ。設問数が60を超える自治体もあるので、決して多い方ではないものの、回答には労力が必要である。協力いただいた市民の皆様に感謝したい。
委員	自由意見の中に、返信用封筒が小さいとの意見があった。紙の調査票による調査と併せて、インターネットを活用したオンライン調査を実施することは可能か。
事務局	調査設計時の事例研究の中で、岡山県玉野市や長野県須坂市などがインターネットを活用した調査を実施したことを把握している。費用対効果の面で検証が求められるが、次回調査に向けた意見として受け止めたい。
委員	教職員・中学生・市職員アンケートと比較すると、市民・事業所アンケートの回答率は低いと言わざるを得ない。調査の信ぴょう性を高める取組が必要である。
事務局	市民アンケートの調査サンプルは791件だったが、統計上は500から1,000の調査サンプルがあれば十分な精度（誤差5%程度）を確保しているとされるため、調査結果自体は信頼に足るものだと考えている。
委員	調査結果の信頼性は疑っていない。回答率を高めるための意識改革、つまり男女共同参画に対して関心を持ち、調査に回答してもらえる市民を増やすような取組や関係各所への働きかけが不十分ではなかったか、という点を心配している。
事務局	回答率は全国平均を上回っているものの、調査に関心を持って回答してくれた方は半数に満たなかったという事実は受け止めなければならない。一人でも多くの市民が、男女共同参画の意識を高めてもらえるよう、事務局も一丸となって取組みたい。
筒井会長	事務局は、皆さんの意見を参考に事務を進めてください。 続きまして、議事（3）「第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）の検討について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局説明>
筒井会長	事務局からの提案について、意見がありましたらお願いします。
委員	国や香川県の取組と歩調を合わせることも大切だが、都市部の計画とさぬき市の現状を単純比較することは難しい。東かがわ市や三豊市など、類似した環境にある県内市町の取組やデータと比較するほうが妥当ではないか。
事務局	国や県が行った調査は、自治体同士で取組状況を比較する場合の共通指標となる。プラン見直し時には、国や県、県内市町との比較についても考慮したい。
委員	調査結果から、現実と理想のギャップが浮き彫りになったと感じた。来年度の会議ではプランの見直しが大きなテーマとなるが、まずは各委員がさぬき市の現状を正確

	に認識することが必要である。調査報告書を通して委員が感じたことや課題について意見交換する機会を設けてほしい。
アドバイザー	最近、管理職を希望しない若者が多いと言われるが、それは現在の管理職のような働き方に魅力を感じないだけだとする意見もある。課題を洗い出した上で議論すべきとの委員の意見には賛成である。
事務局	プラン見直しの協議では、委員全員が共通認識を持つことが不可欠だと事務局でも考えているので、会議運営の参考とする。
委員	調査報告書には、調査を通じて初めて男女共同参画の取組を知ったという意見が寄せられたことで、調査を行うことも啓発活動の一環なのだと認識できた。今後も、事業のターゲットは誰なのか、どういった情報を伝えたいのか、もう一度基本に立ち返って広報啓発に取組んでもらいたい。
筒井会長	では、事務局は、皆さんの意見を参考に事務を進めてください。 続きまして、議事（４）「平成２９年度事業報告について」、議事（５）「平成３０年度事業予定について」は関連があると思いますので、事務局から一括して説明をお願いします。
事務局	<事務局説明>
筒井会長	事務局からの説明について、意見や質問がありましたらお願いします。
委員	平成３０年度に実施する中学生ワークショップでは、今回のアンケート調査との関連性を持った取組を希望する。また、ワークショップに高校生を招いてはどうか。
事務局	中学生ワークショップの参加者は、今回アンケートに協力いただいた新３年生を予定しており、高校生の参加は予定していない。企画については意見をお願いしたい。
委員	来年度以降の取組として、男女共同参画市民サポーターが活躍できる場を準備することも必要ではないか。高校生やPTA、子ども会などを対象にしたワークショップ、出前講座などを企画してもよい。
事務局	事業企画の参考とする。
筒井会長	事務局は、皆さんの意見を参考に事務を進めてください。 続きまして、議事（６）「さぬき市男女共同参画推進活動事業助成金交付要綱の一部改正について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局説明>
筒井会長	事務局からの説明について、意見や質問がありましたらお願いします。
アドバイザー	これまで農林水産業などの分野で助成金を活用した例はないと思うが、その原因は男女共同参画の意識が十分認識されていないからなのかもしれない。どういった分野で取組を進めていくべきなのか、改めて協議したほうがよいのではないかと。

委員	熱心に活動してくれる団体は限られるという事実は受け止めなければならない。活動の裾野を広げるための仕掛けづくりが必要という点は、同意見である。
委員	市民レベルの取組であれば、5万円から15万円という助成金で十分かもしれないが、企業レベルでの活動を促すには不十分と考えざるを得ない。
アドバイザー	助成金という性格上、申請や実績報告などが求められるのは当然ではあるが、敷居が高いと感じる市民は多い。活動の裾野を広げるのであれば、市民が申請したいと思えるようにサポートする体制づくりが必要ではないか。
委員	男女共同参画市民サポーターの中には、助成金を活用した経験を持つ者も多い。市民サポーターに必要な知識を伝えた上で、サポートスタッフとして活躍してもらうことはできないか。
委員	平成30年度の申請案内から、活用できる具体例などを記しているが、むしろ敷居が高くなったと感じる。案内に記載した取組例の表記、書類申請の簡素化といった見直しを求める。
事務局	事業実施の参考とする。
筒井会長	事務局は、皆さんの意見を参考に事務を進めてください。 続きまして、議事(7)「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局説明>
筒井会長	事務局からの説明について、意見や質問がありましたらお願いします。
委員	推薦委員については、推薦依頼関係先の実情を十分把握した上で積極的に意見を出してもらえる方の推薦を希望する。
筒井会長	その他、事務局からの事務連絡、委員から意見などはありますか。
事務局	<事務局説明>
筒井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度協議会の開催予定 【第1回】5月下旬 ⇒ 第1希望日：5月21日(月)午後 【第2回】7月上旬 ⇒ 中学生ワークショップに関する企画検討 プラン見直しに関する委員意見交換
筒井会長	本日の議事は、すべて終わりました。 委員の皆様には2年間にわたり、活発なご議論ありがとうございました。 以上で、平成29年度第4回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。
< 閉 会 > (16:00)	